

《プロフィール》



© C.Black/WHO

宮城島 一明

(Kazuaki Miyagishima)

WHO食品安全・人畜共通感染症部長

1985年に東京大学医学部を卒業。1990年にフランス国立行政学校で国際課程を修了し、1993年に昭和大学で医学博士号を取得。

1986年から厚生省（当時）に入省し、健康政策局、児童家庭局、保健医療局、国立公衆衛生院等にて勤務。1994年からWHO食品栄養部食品安全課にて勤務。1998年から京都大学大学院医学研究科助教授、2003年からFAO・WHO合同食品規格事業国際食品規格委員会事務局長に就任。その後、2009年からOIE次長兼科学技術部長を経て、2013年から現職。

その他、1999年から2003年にかけて、厚生省食品保健国際対策委員会委員、薬事・食品衛生審議会臨時委員、農林物資規格調査会専門委員、遺伝子組換え食品の安全性審査に関する国際基準を策定する作業部会の座長等を歴任。2003年以降はWTOの紛争解決機関にホルモン牛肉問題及び口蹄疫問題に関する参考人として出廷。2015年には規格及び通商開発機構作業部会議長を務める。

畝山 智香子

(Chikako Uneyama)

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部 第三室長

東北大学薬学部卒業後、大学院薬学研究科博士課程に進み、東京大学薬学部にて薬学博士号を取得。国立衛生試験所（現国立医薬品食品衛生研究所）安全性生物試験研究センター病理部、同所安全情報部、厚生労働省大臣官房厚生科学課併任を経て、2010年から現職。

食品安全情報blog (<http://d.hatena.ne.jp/oneyama/>) で食品安全に関わる様々な情報を発信しているほか、著書に「ほんとうの『食の安全』を考えるーゼロリスクという幻想 (DOJIN選書28)」(化学同人)、「『安全な食べもの』って何だろう？放射線と食品のリスクを考える」(日本評論社)、「『健康食品』のことがよくわかる本」(日本評論社)等がある。

鬼武 一夫

(Kazuo Onitake)

日本生活協同組合連合会 品質保証部安全政策推進部 部長

1982年に日本大学農獣医学部農芸化学科を卒業し、2001年に英国Manchester College of Arts and Technology (EFL) を卒業。

日本生活協同組合連合会に入協し、事業運営室、くらしと商品研究所安全政策推進室担当課長を経て、英国Manchester The Co-operative Group/Quality and Consumerへ出向。帰任後は、安全政策推進室室長を経て、2012年から現職。

様々な政府機関等の審議委員を歴任し、現在も、農林水産省リスク管理検討会委員、コーデックス連絡協議会委員、厚生労働省薬事・食品衛生審議会動物医薬品等部会委員、内閣府食品安全委員会専門委員、消費者庁消費者安全調査委員会委員等を務める他、明治大学農学部や茨城大学農学部において教鞭をとる。

## 川村 孝

(Takashi Kawamura)

京都大学健康科学センター長・教授、京都大学総括産業医

名古屋大学医学部卒業後、名古屋、東京、静岡の病院で内科（特に循環器）の診療に従事。愛知県立の健診機関における健康診断・健康増進業務を経て名古屋大学医学部助教授、1999年から現職。

プライマリ・ヘルスケアと産業医業務の傍ら、身近な疾患の予防と治療に関する臨床研究を進めている。近年は臨床研究の方法論としての疫学・統計学および研究倫理の教育に力を入れている。

## 松永 和紀

(Waki Matsunaga)

科学ジャーナリスト、一般社団法人Food Communication Compass代表

京都大学大学院農学研究科の修士課程（農芸化学専攻）を修了後、毎日新聞社に記者として入社。10年間の勤務を経て2000年からフリーの科学ジャーナリストとして活動。2011年、科学的根拠に基づく食情報を収集し発信する消費者団体、一般社団法人Food Communication Compassを設立し代表に就任。ウェブサイトFOOCOM.NETを運営している。2015年には食品安全委員会リスクコミュニケーションのあり方に関するワーキンググループ専門参考人として参加。

月刊誌「栄養と料理」（女子栄養大学出版部）、月刊誌「地上」（家の光協会）、東海コープ事業連合広報誌などで連載中。主な著書は「『食品報道』のウソを見破る 食卓の安全学」（家の光協会）、「食の安全と環境—気分のエコにはだまされない」（日本評論社）、「お母さんのための『食の安全』教室」（女子栄養大学出版部）等。「メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学」（光文社新書）で科学ジャーナリスト賞2008受賞。

佐藤 洋

(Hiroshi Satoh)

内閣府 食品安全委員会 委員長

東北大学医学部卒業後、同大学医学研究科博士課程を修了し、同大学助手となる。米国ロチェスター大学研究員、福島県立医科大学講師、北海道大学医学部助教授、東北大学医学部教授を経て、1997年に同大学大学院医学系研究科教授。独立行政法人国立環境研究所理事を経て、2012年から内閣府食品安全委員会委員、2015年から内閣府食品安全委員会委員長。公衆衛生学が専門で、特に水銀をはじめとする汚染物質ばく露影響のエキスパートである。

姫田 尚

(Takashi Himeda)

内閣府 食品安全委員会事務局 事務局長

京都大学卒業後、農林水産省へ入省。消費・安全局において消費者情報官、動物衛生課長、総務課長、審議官等を経て、2012年より現職。農林水産省時代は、BSE対策、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫、福島原発事故に係る食品の放射線対策等に尽力した。また、消費・安全局の初代消費者情報官として、リスク管理機関におけるリスクコミュニケーションに取り組んできた。現在は内閣府食品安全委員会事務局長として食品に関するリスク評価やリスクコミュニケーション分野を統括している。

高崎 洋介

(Yohsuke Takasaki)

内閣府 食品安全委員会事務局 評価技術企画推進室長・評価調整官

岡山大学医学部を卒業後、内科医として地域医療に従事。岡山大学では医学博士、ハーバード大学及びコロンビア大学ではそれぞれ修士号を取得。平成19年、厚生労働省に入省し、以後、医療安全、国際保健、医療の情報化、EBMの推進、医療保険制度等を、文部科学省では再生医療・脳科学等の医学分野の研究振興を担当。また、ロンドン大学では講義や研究、WHOではインターン（高齢化対策）を行う。平成26年より食品安全委員会事務局。